

イ 月別細菌分離・検出状況

A 群溶血性レンサ球菌が 3 件分離された。血清型は T1 型が 1 件、型別不能が 2 件であった。1 月、3 月、9 月に分離された（表 15 参照）。

表 15 月別 A 群レンサ球菌分離状況(平成 30 年 1 月～12 月)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
A群レンサ球菌型別不能			1						1				2
A群レンサ球菌T1型	1												1

(3)全数把握対象感染症

ア ウイルス検査の概要

(ア) SFTSウイルス

各保健所の積極的疫学調査により 3 名の検査を実施したが、いずれの患者からも SFTSウイルスは検出されなかった。

(イ) エンテロウイルス

急性脳炎に係る保健所の積極的疫学調査により 1 名の検査を実施した。(検査項目：エンテロウイルス、パレコウイルス、ヘルペスウイルス) その結果、コクサッキーウイルス A4 型が検出された。

(ウ) 麻しんウイルス

各保健所の積極的疫学調査により 11 名の検査を実施したが、いずれの患者からも麻しんウイルスは検出されなかった。

(エ) 風しんウイルス

各保健所の積極的疫学調査により 8 名の検査を実施した。その内、1 名から風しんウイルスが検出された。その遺伝子型は 1E であった。

イ リケッチア検査の概要

各保健所の積極的疫学調査により、10 件の日本紅斑熱の検査を実施し、2 件の日本紅斑熱リケッチア陽性を確認した。詳細は以下のとおりである(表 16 参照)。内、各保健所の積極的疫学調査により 1 件のツツガムシ検査も国立感染症研究所へ委託したが、抗体検査は陰性であった。

表 16 日本紅斑熱患者概要

番号	発生年月	性別	年齢	発生地	症状			
					発熱	発疹	刺し口	肝機能異常
1	2018年7月	男	80歳代	岩美郡	○	○	○	○
2	2018年10月	女	60歳代	県外	○	○	○	

ウ 細菌検査の概要

(ア) 腸管出血性大腸菌

平成30年には、県内で腸管出血性大腸菌患者（健康保菌者を含む）は22名発生した。当所では、患者（陰性化確認）と患者の接触者（結果陽性の場合の陰性化確認も含む）について63検体（便）の検査を実施した。その結果、3件の腸管出血性大腸菌を分離・同定し、これらの血清型は、O103とO157であった。また、血清型が不明な菌株1株について検査を実施したところ、O145であった。さらに、当所で分離・同定された菌株3株と他所で分離・同定された菌株5株について毒素遺伝子を検査したところ、「VT1・VT2」が2株、VT1が3株、VT2が2株検出された。詳細は以下のとおり（表17参照）。

表17 腸管出血性大腸菌症発生状況(平成30年1月～12月)

No.	検出月日	当所検査	居住地域	性別	年齢※	症状の有無	O血清型	Vero毒素型
1	5月15日	血清型別	東部	男	20歳代	有	145	VT2
2	5月18日	毒素型	東部	男	20歳代	有	26	VT1
3	5月21日	毒素型	東部	男	20歳代	有	26	VT1
4	6月18日	—	西部	男	50歳代	有	157	VT2
5	7月4日	—	西部	女	20歳代	有	157	VT1・VT2
6	7月17日	—	西部	男	幼児	有	157	VT2
7	7月21日	分離・同定	西部	男	20歳代	無	157	VT2
8	7月24日	—	西部	男	30歳代	無	157	VT2
9	8月4日	—	中部	男	30歳代	有	157	VT1・VT2
10	8月3日	—	東部	男	幼児	有	103	VT1
11	8月6日	分離・同定	東部	女	小学生	有	103	VT1
12	8月6日	分離・同定	東部	女	30歳代	有	103	VT1
13	8月7日	毒素型	中部	女	60歳代	有	157	VT1・VT2
14	8月15日	—	中部	男	20歳代	有	157	VT1・VT2
15	8月19日	—	西部	女	40歳代	有	157	VT1・VT2
16	8月21日	—	西部	女	20歳代	有	157	VT2
17	8月25日	—	西部	女	児童	有	157	VT1・VT2
18	9月5日	毒素型	中部	男	20歳代	有	157	VT2
19	9月16日	毒素型	中部	女	80歳代	有	157	VT1・VT2
20	9月27日	—	西部	女	50歳代	有	157	VT1・VT2
21	9月29日	—	東部	女	20歳代	有	157	VT1・VT2
22	10月1日	—	西部	女	20歳代	有	157	VT1・VT2

※表中の着色部分はそれぞれ同一事例を示す。それ以外は個別事例

※乳児：1歳未満 / 幼児：1歳以上

(イ) 侵襲性肺炎球菌感染症

各保健所の積極的疫学調査により2件の血清型検査を国立感染症研究所へ委託した。その結果、すべて非ワクチン株（13価肺炎球菌結合ワクチンに係る）であった。